

第3期 奈良県がん対策推進計画 概要

【計画の位置づけ、根拠法令等】

がん対策基本法第12条に基づく法定計画
「なら健康長寿基本計画」「奈良県保健医療計画」と整合する計画

【計画期間】

平成30年度から平成35年度までの6年間

【策定の趣旨】

国の第3期計画の考えに基づきつつ、県の第2期計画の現状と課題から必要な取組を明らかにし、がん対策の総合的かつ計画的な推進を図る

基本理念

がんにならない、がんになっても安心できる 奈良県

全体目標

めざすところ 「がんで亡くならない県、日本一」

【数値目標】

がん75歳未満年齢調整死亡率 27%減少
72.3 (H27) → 52.8 (H39)

1 がんにならない、がんで若い人が亡くならない

2 すべてのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく療養生活を送ることができる

3 すべての県民ががんを知り、がんに向き合い、希望を持って暮らせる地域共生社会をつくる

分野別施策

がん予防・早期発見

がん予防

めざす姿：県民ががん予防に取り組み、罹患が減少している。

- ・たばこ対策の充実
- ・健康的な生活習慣の普及
- ・感染症予防の充実

がんの早期発見

めざす姿：県民が質の高いがん検診を受診できている。

- ・がん検診の受診促進
- ・がん検診精度管理の充実 等

がん医療

がん医療の充実

めざす姿：がん患者が、質の高いがん医療を受けることができる。

- ・がん医療提供体制の充実
- ・がん医療の質の向上
- ・患者目線でのがん診療情報の提供
- ・小児・AYA世代のがん医療の連携促進

診断された時からの緩和ケア

めざす姿：がん患者等が、痛みやつらさが軽減され、療養生活に満足している。

- ・緩和ケア提供体制の充実
- ・緩和ケアの理解促進と情報提供の充実

地域連携

めざす姿：がん患者が、自分の望む場所で療養生活を送ることができる。

- ・拠点病院等の地域連携体制の充実
- ・在宅緩和ケア提供体制の整備及び充実

がん患者等への支援

相談支援・情報提供

めざす姿：がん患者等が、必要な情報を受け取れ、悩みや疑問が軽減している。

- ・相談支援機能の強化
- ・患者目線での情報提供の充実
- ・小児等世代に応じた相談支援体制の整備

がん患者の就労を含めた社会的問題

めざす姿：働く意欲のあるがん患者は安心して働くことができる。

- ・がん患者の治療と仕事の両立等の相談支援体制の充実
- ・がん患者の治療と仕事の両立支援体制の整備

がん教育・普及啓発

めざす姿：子どもの頃からがんに関する正しい知識を持ち、がん予防や早期発見に注意を払っている。

- ・中学・高等学校におけるがん教育の充実
- ・小学校（高学年）における啓発活動の推進
- ・がん対策全般に関する普及啓発の推進

がん登録

めざす姿：がん患者ががん登録データを活用した質の高いがん医療を受けることができる。

- ・がん登録の精度向上
- ・がん登録データを活用したがん対策の検討・実施
- ・データを活用した情報提供等

これらを支える基盤整備